
社会貢献活動（2025 年度）

聖学院大学

1. 学生ボランティア活動

学生団体や学生有志は、以下のようなボランティア活動を展開している。

1) 主な学生団体のボランティア活動

■聖学院大学ボランティア・アソシエーション:GRACE

学内での全学礼拝やキリスト教行事への奉仕活動にとどまらず、学外でのボランティア活動も展開。児童養護施設への定期的なボランティア活動も実施した。

■学生団体そよかぜ

石川県能登町と宮城県石巻市で復興支援活動を行い、活動の中で得た学びを関東で発信している。また、現地の商品を仕入れて販売を行い、被災地の魅力を発信している。

■子どもボランティアサークルポラリス

子どもたちがのびのびと遊べるよう、近隣の自治体や社会福祉協議会、公民館、市民活動団体主催のイベントに協力し、自分たちで考えた遊びの場を提供している。

■健康麻雀ボランティア会

介護予防や孤独死予防につなげるため、近隣の介護施設やデイサービスなどを訪れ、利用者の皆さんと健康麻雀を行い、楽しい交流のひとときを提供している。

2) 学生有志によるボランティア活動

能登半島地震や奥能登豪雨で被災した地域における交流活動、子育て支援施設での乳幼児親子との交流や、大学最寄り駅で月 1 回行われる清掃活動、小中学生の学習支援、フードパントリー、切手整理、行政や自治会、NPO 主催のイベント出演やブース出展等で学生有志が活躍した。

2.地域連携・ボランティア活動

1) ボランティア・まちづくり活動助成事業

ボランティア活動に取り組む学生団体や、まちづくりに携わるゼミ等を応援するために、大学同窓会と共催で活動への助成事業を実施。2025年6月21日に公開審査会を行い、5団体に対し総額、約30万円助成した。また、上尾市社会福祉協議会に協力いただき、地元上尾市で活動をする団体を対象に、赤い羽根共同募金から6万円の助成をいただいた。さらに、教職員や卒業生から寄付を募り多くの支援をいただいた。

2) 震災学習

聖学院大学では、2011年12月より東日本大震災復興支援活動に取り組んでいる。

日程	内容	場所	参加人数
2025年6月11日	ボランティアの現場から見た東日本大震災 震災の現場を体験した方の生の声を通して、災害の記憶を受け継ぐとともに、今後の学生による活動や防災意識の向上につなげることを目的とした。	2307教室	学生8名、教職員3名、卒業生1名
2025年8月15日～17日	夏の東北ボランティアスタディツアー 現地の方々が実施するイベントの運営協力ほか、東北の魅力を発見するツアーを実施	宮城県石巻市、仙台市荒浜地区	学生23名、教職員5名
2025年8月26日	映画「ただいま、つなかん」学内上映会 気仙沼市の民宿「つなかん」を舞台に3.11からコロナ禍までを描いた映画「ただいま、つなかん」の上映会を実施。日本財団ボランティアセンターとの共催。	1号館1cafe	学生19名、教職員5名
2025年9月19日～22日	能登半島ボランティアスタディツアー 自由の森学園高等学校（選択授業「福祉の現場へ」）、日本財団ボランティアセンターとの共催で実施	石川県鳳珠郡能登町	学生7名、教職員2名、他校学生生徒教職員11名
2026年2月14日～16日	冬の東北ボランティアスタディツアー 伝承施設の見学、現地の方々とのお郷土料理づくり交流会やコミュニティ再生に関するワークショップ、東北の魅力を発見するツアーを実施	宮城県石巻市、女川町	学生13名、教職員3名
2026年3月24日	未来をひらくために、いま向き合う・映画「生きる」鑑賞会 大川小学校の津波裁判のドキュメンタリー映画。悲劇を繰り返さないために私たちは何を大切にし、どう活かしていくのかを問い直す機会として実施。	OttO Movie Theater	学生4名、教職員3名

3) 外部との連携・協力など

■能登半島 636

本学学生が代表を務める学生団体そよかぜ（川越市社会福祉協議会登録団体）がお世話になっている能登町の方々と埼玉にお招きし、講演会やワークショップを実施。継続的な関わり方について理解を深める機会となった。2025年9月27日実施。

■ボラフェス！2025の実施

本学の大学祭「ヴェリタス祭」にて、近隣や卒業生が働く福祉施設や、つながりのある海外支援団体等をお招きし、手作り商品の販売やボランティア募集をしていただくなど、施設・団体と学生・教職員、地域の方々との接点をつくる機会として2025年10月31日-11月1日実施。

■上尾・桶川・伊奈障がい者事業所ボランティア交流会

学生が障がい者福祉事業所の理解を深めるとともに、ボランティア活動へ踏み出すきっかけをつくることを目的として 2025 年 12 月 4 日実施。

■地域イベントの参加・登壇

日程	内容	団体	参加人数
5 月 24 日、25 日	uneune 防災フェスタ実行委員会「uneune 防災フェスタ」能登応援商店出店	学生団体そよかぜ	7 名
8 月 6 日	さいたま市社会福祉協議会／夏の体験ボランティア主催企画「防災マスターになろう」での中高生の受け入れ	学生団体そよかぜ、スクールソーシャルワーク論受講生有志	9 名
8 月 23 日、10 月 26 日、12 月 27 日、2026 年 2 月 25 日	リハビリホーム一步 健康麻雀ボランティア	健康麻雀ボランティア会	のべ 15 名
8 月 30 日、9 月 27 日、10 月 25 日、11 月 22 日、12 月 20 日	日進公民館「わくわく遊び広場」運営	子どもボランティアサークルボラリス	のべ 35 名
9 月 12 日、25 日	社会福祉法人一樹福祉会子育て支援センター“あすなろ” 絵本の読み聞かせ等実施	あそび場プロジェクト	5 名
9 月 20 日	上尾市ボランティア連絡会 「あげおボランティア祭り」お点前披露・ステージ出演・健康麻雀体験ブース出展	茶道部表千家 軽音楽部サウンドスクエア 健康麻雀ボランティア会	21 名
9 月 20 日	上尾市社会福祉協議会／こどもフェア あそびブース出展	子どもボランティアサークルボラリス	5 名
9 月 27 日	さいたま市社会福祉協議会／夏の体験ボランティア 日進公民館「わくわく遊び広場」での高校生ボランティアの受け入れ	子どもボランティアサークルボラリス	7 名
11 月 9 日	日進未来を紡ぐ会／日進秋祭り 健康麻雀体験ブースの運営	健康麻雀ボランティア会	3 名
12 月 7 日	コープみらい中部ブロック委員会／「コープみらいプラザまつり in 大宮」お茶会実施・あそびブース出展	茶道部表千家 子どもボランティアサークルボラリス	10 名
12 月 13 日	さいたま市立日進北小学校 SSN（スクールサポートネットワーク）協議会／地域・子どもフェス 防災ミニ講座	東北ボランティアスタディツアー参加者有志	3 名
2026 年 3 月 26 日	上尾市ボランティア連絡会／ボランティアはじめての一步	能登応援商店出店／学生団体そよかぜ ふるさとの調べでの歌披露／アカペラ部てくてく	5 名

4) 学生サポートメンバー養成講座

学生と共につくる、育つセンターを目指し、2012 年のセンター開設時から年 1 回、「聖学院大学のボランティア活動を盛り上げる」学生コーディネーター養成を目的とした講座を実施。受講後は、学生コーディネーターとして、学生たちがボランティア活動への一步を踏み出せるよう、さまざまな交流企画を実施している。

3.防災用備蓄倉庫・防災拠点校

上尾市と防災用備蓄倉庫の使用等に関する協定書を交わし、2009 年より毛布、担架、発電機など非常用の備蓄品を本学倉庫に設置している。

また 2012 年には災害時における防災拠点校の使用に関する覚書を交わした。

4.避難施設の指定について同意

本学は埼玉県、国民保護法第 148 条 1 項に指定する避難施設の指定について、2011 年に同意をした。

5.避難所開設訓練

聖学院大学は災害が起きた場合の上尾地区住民の避難場所となっている。(2015 年度より)

年数回の上尾市・上尾地区の方と災害時避難所開設の打合せ、年 1 回上尾市・戸崎地区の方と避難所開設訓練を実施している。